

平成 30 年度

事業報告書

公益財団法人 静岡産業振興協会

目 次

＜総 括＞	1
1 公益目的事業	2
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	2
① 展示場及び会議室等の貸与	2
(2) 地場産業支援事業	4
① 新商品、新技術支援及びデザイン開発支援事業	4
② 人材養成、人材確保推進事業	5
③ 「産業フェアしずおか」の開催事業	8
(3) 都市型産業支援事業	10
① 創業者支援事業	10
② マーケティング支援事業	12
③ 産学連携事業	15
④ 情報提供事業	17
⑤ 施設提供事業	17
(4) 静岡市中小企業支援センター事業	18
① 窓口相談等事業	18
② 専門家派遣事業	18
③ 新連携・地域資源活用プログラム等利用支援事業	19
④ 中小企業等販路開拓支援事業	19
⑤ 制度融資関連事務	20
2 収 益 事 業（ツインメッセ静岡）	21
(1) 展示場及び会議室等の貸与	21
(2) レストランテナント及び飲料水自動販売機事業	21
3 施設利用促進事業（ツインメッセ静岡）	22
4 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）	23
5 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）	24
6 理事会・評議員会等	25
(1) 理事会	25
(2) 評議員会	25
(3) 登記事項	26
(4) 役 員	26
(5) 組 織	26

参考資料

◇ 展示場の利用状況	27
◇ 会議室の利用状況	30
◇ 年間来場者数	30

＜総 括＞

当協会は、静岡産業支援センター（以下「ツインメッセ静岡」）及び静岡市産学交流センター・静岡市中小企業支援センターを運営・管理する公益法人として、静岡市及び関連団体と連携し、地域中小企業への支援をととして、地域産業の振興及び地域経済・社会の健全な発展に寄与することを目的に事業を実施した。

協会の経営にあたっては、「公益財団法人」として、今後の協会のあり方やこれからの経営の道しるべとなる新たな計画の策定が望まれる中、静岡市が外郭団体を市の施策推進に欠かせないパートナーとして位置づけ、「静岡市外郭団体の活用及び連携に係る指針」を示したことを契機に、当協会では平成 30 年度新たに、地域産業の発展を計画的に支援していくため、4 年先を見据えた中期「経営計画書」を策定した。

ツインメッセ静岡の貸館事業では、定期利用の催事はおおむね前年度並みに利用され、報道機関が主催するファミリー型催事は減少したものの、「TGC しずおか」などの新規催事の誘致に成功したことにより、賃貸料収入の予算対比 100.1%を達成した。

また、施設利用者のサービス向上と、高齢者、障がい者等にやさしいバリアフリー化を推進するため西館にエスカレータを設置した。

地場産業支援事業では、伝統工芸技術保存講習会の受講生が講習会で制作した作品が「東海伝統工芸展」で入選し、受講生の練度の向上と、技術の保存、継承及び新技術の取得という当該事業の成果を示すことができた。

産学交流センターでは、創業者、中小企業者、創業を目指す方々に対する経営相談・指導、マーケティングに特化した支援事業を実施したほか、産学連携事業では産学連携コーディネーターにより幅広い分野で連携を図り、中小企業者からの技術的な相談に応えた。

また、当年度より SOHO しずおかの事業を承継するとともに、静岡商工会議所と共同で指定管理事業に取り組むこととなり、「清水産業・情報プラザ」との効果的・効率的な事業連携に努めた。

協会は静岡市の
キーパーソンと
して、地域産業
の振興を計画的
に推し進める。
(経営計画書を作成)



1 公益目的事業

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

① 展示場及び会議室等の貸与

地域産業の経済活動支援や人材育成など、公益を目的とした事業実施のため、地場産業団体、地元中小企業や国、県、市などの行政機関に展示場及び会議室を貸与した。

展示場における公益目的の貸館件数は 185 件(利用率:74.0%)で、昨年度と比較して3件増加し、地元中小企業の振興に寄与した。

本年度の特筆される催事としては、南北両館の大展示場でSDGs推進を目的に「TGC しずおか 2019」と「SDGs COLLECTION」が同時開催され、市外や県外からの多くの来場者で賑わいを見せた。

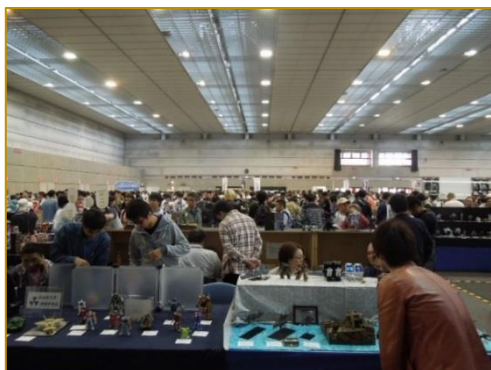
大展示場の利用では、公益目的事業の定着化に努めた結果、本年度に新たに開催した65件の催事のうち、次年度以降の予約を5件獲得した。

会議室は、中小企業等の技術向上セミナーや社員教育セミナー、資格試験、大学入試の会場や展示場利用関係者の控室などに使用され、幅広く活用されている。

<地場産業団体・一般企業等>

催 事 名	使用期間	催 事 名	使用期間
三協アルミ エクステリア新商品展示会	4/5～8	セブーンイレブン 商品展示会 (春期・秋期)	4/24～26 10/16～18
第57回 静岡ホビーショー	5/7～13	シズオカ [KAGU] メッセ 2018	5/27～6/3
第42回駿河の家具・インテリア展	6/1～3	静岡優良ツキ板展示大会 (第57・58・59回)	6/11～13 12/3～5 3/4～6
ジャパンレプタイルズショー (summer・winter)	8/3～5 1/18～20	BRICKLIVE in Shizuoka 2018	8/10～14
しんきんつなぐチカラ静岡 2018	10/9・10	タミヤフェア 2018	11/15～18
クリスマスフェスタ 2018	12/6～9	SDGs 推進 TGC しずおか 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION	1/9～13
介護福祉士国家試験	1/26・27	第42回静岡どてらい市	3/14～18

注)国、県、市が民間へ委託した事業は、ここに分類した。



プラモデル愛好家によるモデラーズクラブの展示。「静岡ホビーショー」(左)

多くの来場者で賑わった、「TGC しずおか 2019」(右/北館)



<国・県・市 等>

催 事 名	使用期間	催 事 名	使用期間
静岡市職員採用試験	6/23・24	静岡市・静岡県総合防災訓練	9/1・2
登録販売者試験（一般用医薬品販売の国家資格試験）	9/4・5	ものづくりフェスタ 2018	9/21・22
日本水道協会 全国地震等緊急時訓練 平成 30 年度応援訓練	11/5～7	SDGs COLLECTION supported by TGC しずおか 2019	1/11～13
静岡・清水税務署合同確定申告	2/～3/18		

注）国、県、市が関わる共催事業は、ここに分類した。

「TGC しずおか」と同時開催された「SDGs COLLECTION supported by TGC しずおか 2019」。多くの若者たちで埋め尽くされた南館の風景。



成 果 目 標	結 果	摘 要
①大展示場新規利用者の 次回予約件数 2 件 (収益事業を含む)	予約 5 件獲得	予約を獲得した催事 5 件 ・ミネラルザワールド天然石まつり ・東京ガールズコレクション ・ろうきん住宅フェスティバル 他 2 件
②大展示場の定期利用者の 確保率 90%以上	大展示場の定期利用者の 確保率 92.3%	定期利用者 65 件中 60 件について次 年度(令和元年度)の予約を確保

<主な会議室利用>

催 事 名	使用期間
施行管理技士研修会	4/9～11/27
平成 30 年度 介護労働講習	6/1～11/12
狩猟免許更新検査講習	7/11～13
平成 30 年分静岡・清水税務署合同確定申告控室	2/5～3/18

【(2) 地場産業支援事業】

① 新商品、新技術支援及びデザイン開発支援事業(ニューウェーブ「しずおか」創造事業)

地元製造業者の新商品開発へのチャレンジを支援する為、企業とデザイナーをつなぐ『ニューウェーブ「しずおか」創造事業』を実施し、地元製造業者とデザイナーとのマッチングを行い、デザインの力を活用した新商品開発を行った。

この開発商品は、平成 31 年 2 月の「東京インターナショナル・ギフト・ショーLIFE×DESIGN」に展示発表し、来場者の反響は大きかった。

また、展示会内で行われたコンテスト「LIFE×DESIGN アワード」では、当協会展示ブースがベストブースデザイン賞を受賞した。

製造メーカー、プロデューサー、
デザイナーのコラボにより開発
した商品が展示された。
(東京インターナショナル・ギフト・ショー)



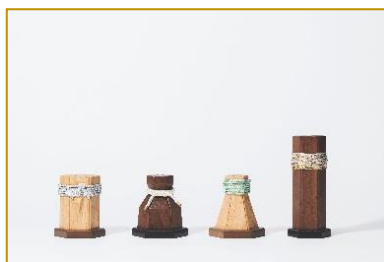
【平成 30 年度開発商品】



ZEROMISSION
×
UMENODESIGN(株)



漆器製造販売藤中
×
switch design



大伸木工(株)
×
Colordrop Design



(株)左京
×
STUDIO MITZ



松葉畳店
×
STUDIO BYCOLOR



(有)日本スエーデン
×
studioY0



(株)吉蔵
×
TOSHIHIRO KAWADA DESIGN

※ 上段：参加企業
下段：参加デザイナー

◆ 展示発表会

東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2019 LIFE×DESIGN

- ・期 日 平成 31 年 2 月 12 日(火)～15 日(金)
- ・会 場 東京ビッグサイト



受賞した「ベストブース
デザイン賞」の記念証

静岡の象徴・富士山を背景に、静岡ひきものプロジェクトと共同でオール静岡ブースを作成、ベストブースデザイン賞受賞の要因となった。

成 果 目 標	結 果
新商品の開発 30 点	新商品の開発 31 点

② 人材養成、人材確保推進事業

＜伝統工芸技術保存講習会＞

伝統工芸業界の後継者を対象に、「伝統工芸技術保存講習会」を開催し、伝統技術の継承及び新技術の習得を支援した。本年度、木工講習会と漆器講習会で制作した住田恭子氏の作品が東海伝統工芸展「漆芸・木竹工の部」で入選を果たした。

	漆器の部	竹工の部	木工の部	蒔絵の部	拭漆の部
期 間	20 日	11 日	17 日	20 日	8 日
講 師	安藤嘉津夫 氏	高橋一雄 氏	松島富蔵 氏	長谷川雅英 氏	安藤嘉津夫 氏
受講者数	10 人	8 人	7 人	8 人	5 人
内 容	乾漆制作（初）	行灯「照陽」	刳物(クモ)	パネ・棗・香合 うち1種選択	拭漆実習

成 果 目 標	結 果
5 講座で受講者数 30 人以上を募る。	5 講座で 38 名が受講
東海伝統工芸展に出品できる技術力を養い、3 名以上の出品と 1 名以上の入選を目指す。	出品 1 名 東海伝統工芸展入選 1 名



東海伝統工芸展で入選した
住田氏の作品「櫛拭漆盛器」

<静岡ものづくり相談・支援事業>

地場産業界の経営力、販売力等の基盤強化に向けた実践講座と経営力、広報力強化のための公開講演会を実施した。また、新たな試みとして、職人たちの保有する技術に着目し、技術を PR する展示会へ出展を行った。

◆実践講座

職人や製造業者を対象に、販売力・販促力の強化を目的に、普段学習機会の少ない接客の基礎となる接客講習を BtoB、BtoC のそれぞれの場面に合わせて、講義&ロールプレイ形式による疑似体験を行った。この受講生のうち、半数以上が講習会終了の翌週に開催された、東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展、講習効果を実践できた。

- ・期 日 平成 31 年 1 月 17 日（木）・24 日（木）・2 月 7 日（木）
- ・会 場 ツインメッセ静岡 406・407 会議室
- ・テーマ 「接客でつたえる、顧客へつなげる。～最後はロールプレイで実践！
商品の良さを伝えるコミュニケーション・接客実践講座～」
- ・講 師 清水博之 氏
(エクストコンサルティング 代表経営コンサルタント／
展示会支援)
- ・参加者 6 名

実践を想定した
ロールプレイを
行う受講生たち



◆公開講演会

製造業に従事する個人事業主を中心に、情報発信力・広報力の強化を目的に、10 年間で情報発信を活用して、産地のコミュニティ拡大に成功した旭川の実例を紹介する講演会を開催した。参加者は、自ら産地に携わる事業者として、地域コミュニティへの販路拡大の可能性が十分あることを考える良い機会となった。

- ・期 日 平成 30 年 10 月 5 日（金）
- ・会 場 ツインメッセ静岡 409 会議室
- ・テーマ 「産地との新しい関わり方～AMCC 旭川木工コミュニティキャンプの 10 年～」
- ・講 師 萩原 修 氏
(デザインディレクター／㈱シュウヘンカ共同代表)
- ・参加者 市内地場産業関係者、製造業者など 28 名

◆技術プロモーション支援

商品の製作や販売面の視点とは別に、職人の技術に着目し、職人が保持している技術そのものをPRすることを目的に、素材や技術に特化した展示会「SOZAI 展」に静岡漆器工業協同組合が出展した。この出展で駿河漆器の特色である「変塗」についてその技術力に視点を置いた販促活動を行い、技術の表現の必要性について再認識し、新たな方向性へのヒントを掴むことができた。

－ SOZAI 展－

- ・期 日 平成 31 年 2 月 12 日 (火)～15 日 (金)
- ・会 場 東京ビッグサイト
- ・出展企業 静岡漆器工業協同組合

「変塗」のサンプルと商品を
展示し、駿河漆器の技術PRを
行った。



<地場産業販路開拓・PR事業>

当協会の地場産業支援事業で開発、製作した製品のアフターフォローを行う事業で、過去の参加企業や団体、個人事業者等に対し、取扱商品の販路開拓やPRの場を提供し、継続的な支援をしている。今年度は継続2年目として、昨年に引き続き9月の東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展、昨年以上の成果を上げることができた。

◆参加企業 (10 社)

ZEROMISSION／杉本家具(株)／(有)日本スエーデン／
kozou hakostyle／(株)えて／DCS corp.／松葉畳店／
(株)ソラリネ／大伸木工(株)／(株)吉蔵



ブース内で自社商品の商談・PRを
行う参加者たち
(東京インターナショナル・ギフト・ショー)

◆出展展示会

東京インターナショナル・ギフト・ショー

- ・期 日 平成 30 年 9 月 4 日 (火)～7 日 (金)
- ・会 場 東京ビッグサイト

成 果 目 標	結 果
・新規取引先の開拓 100 件	・新規取引先の開拓 179 件
・商談 (成約) 30 件	・商談 (成約) 35 件

＜静岡市の特産品新宿展示会への出展＞

当協会の地場産業支援事業で開発、製作した製品へのアフターフォローのさらなる強化を目的として、前述の地場産業販路開拓・PR事業に加えて、県外での BtoC 大規模販売会である「静岡市の特産品新宿展示会」へ出展し、首都圏のエンドユーザーに向けた販売機会の提供と、技術のPRを行った。首都圏のエンドユーザーと直接対面することで、有効なユーザー視点の情報収集などができた。



生産者自ら店頭に立ち、首都圏のエンドユーザーに向けて販売・PRを行った。

- ◆参加者 するがクリエイティブ
- ◆会 期 平成 30 年 10 月 17 日(水) ～19 日(金)
- ◆会 場 JR 新宿駅 西口広場イベントコーナー

③「産業フェアしずおか」の開催事業

「いいじゃん、静岡！やるじゃん、静岡！～静岡の POWER（魅力）がいっぱい詰まった 2 日間」をテーマに開催した今回の“産業フェアしずおか”は、2 日間で 8 万人を超える来場者が訪れた。フェア全体としては、多くの来場者に静岡の POWER（魅力）を再発見していただく機会となった。

北館では、これまで別々に配置してきた「地場産業ゾーン」と「観光ゾーン」を今回初めて統合し、「地場産業・観光ゾーン」としたことで、地場産業と観光の交流による相乗効果が生まれ、ゾーン全体の回遊性が確保できた。

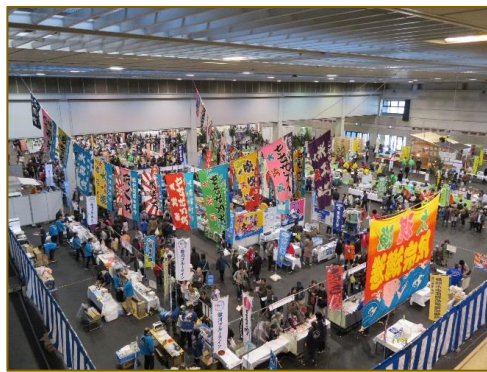
南館では、「農業ゾーン」「しずまえゾーン」に、例年どおり農産物や水産加工物を求める人が詰めかけ、「林業ゾーン」は、木工体験や餅まきなど来場者参加型のコンテンツで親子連れの人気を呼んでいた。

また、新企画として実施した「いいじゃんブース総選挙」は、投票総数 2,000 票もの参加があり、出店者と来場者の新たな繋がりが生まれた。

- ・期 日 平成 30 年 11 月 24 日（土）・25 日（日）
- ・テーマ 「いいじゃん、静岡！やるじゃん、静岡！」
- ・会 場 ツインメッセ静岡
北館・南館大展示場
- ・出展団体 187 団体・来場者数 87,300 人



開場を待ち望む多くの来場者



毎年、多くの来場者で賑わいを見せる水産ゾーン。(南館)



林業ゾーンに作られた木片チップのプールで遊ぶ子供たち。(南館)

成 果 目 標	結 果
目標来場者数 89,000 人以上	来場者数 87,300 人
来場者満足度 90%以上	「期待通りでしたか？」 ・期待以上 18.3% ・期待通り 70.3% 計 88.6% 「次回も来場したいか？」 ・はい 94.7% ※来場者アンケートより

(3) 都市型産業支援事業

静岡市から静岡市産学交流センターの指定管理者を受けて、当協会では、「創業や新産業にチャレンジする人・企業を積極的に見だし、共に考える」「中小企業と大学、中小企業のサポーターとの接点を創り出す」ことを理念に掲げ、各種事業を実施した。

① 創業者支援事業

資本や人材等の経営資源に乏しい創業者がスムーズに事業を開始し、独り立ちするための支援として、経営相談・指導及び事業機会拡大のための各種事業の企画・実施並びに創業者支援セミナーを開催した。

<創業・経営相談>

創業希望者や創業後間もない事業者及び中小企業者等を対象に、創業や経営に関する悩みや課題解決に向け、プロジェクトマネージャーをはじめとする支援スタッフ・窓口相談員が経営相談、事業指導を行った。

成 果 目 標	結 果
相談目標 500 件	相談件数 470 件

<大学等起業家育成支援事業>

大学や高等学校等の学生を対象に、「ビジネス実践講座」を実施し、なぜ創業について学ぶのか、ビジネスにおけるアイデアの出し方、事業化・資金計画の策定の仕方等の基礎的知識の習得機会を提供し、選択肢としての「創業」や、「就業」「会社の仕組み」等への理解を深めた。



中小企業診断士による授業風景・生徒発表（静岡デザイン専門学校）

実施大学等の名称	実施回数	参加者数
静岡大学	3 回	8 名
静岡県立大学	3 回	20 名
静岡英和学院大学	3 回	18 名
常葉大学	2 回	11 名
静岡デザイン専門学校	3 回	45 名
静岡県立静岡商業高等学校	3 回	17 名
静岡県立静岡農業高等学校	2 回	49 名
静岡県立科学技術高等学校	1 回	45 名
静岡県立駿河総合高等学校	6 回	42 名
静岡市立高等学校	1 回	340 名
合計（10 校）	27 回	595 名

成 果 目 標	結 果
応募参加者 大学等 5 校、高校 6 校	応募参加者 大学等 5 校、高校 5 校

<創業者支援事業及び育成室の運営>（SOHOしずおか事業の承継）

平成30年3月末に『SOHO しずおか』が解散したことに伴い、これまで行っていた事業を平成30年度から当センターが引継いだ。

◆ビジネスプランコンテストの実施

静岡県内で新規に事業展開を目指す事業者及び学生を対象に、起業家精神の高揚と柔軟な発想力・独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービス開発促進の支援を目的として、「しずおかビジネスプランコンテスト」を開催した。

この事業は、ビジネスプランの作成から事業の立ち上げまで、一貫した支援体制が特徴となっている。



学生が考えたビジネスプランの発表を熱心に聞く受講者たち。

○ 開催スケジュール

- ・ 募集期間 H30. 7/2(月)～10/24(水)
- ・ 書類審査 H30. 11/6(火)
- ・ プレゼン審査 H30. 11/30(金)12/1(土)
- ・ 最終審査会 H31. 2/19(火)

○ 応募件数等

- ・ 応募件数 96 件
(一般部門 29 件、学生部門 67 件)
- ・ 入賞件数 10 件
(一般部門 5 件、学生部門 5 件)



審査員とコンテスト入賞者による記念撮影

◆創業者育成室の運営

SOHO 静岡のインキュベート入居室を、創業者育成室として運営することにより、入居者の支援を行った。

成 果 目 標	結 果
創業者支援育成室 常時4室以上入居	入居者数 5室
ビジネスプランコンテスト応募件数 80 件	応募件数 96 件

<起業家等支援事業>

◆女性限定「起業スタートアップ塾」 (3回開催/参加者延べ75人)

創業間もない女性、創業に関心のある女性を対象に、「女性の創業」に特化したセミナーを開催した。毎回、地元で活躍する女性起業家をゲスト講師に迎えて交流会・意見交換を行うほか、ビジネスにおけるSNSの活用方法についての講義も行った。

・ゲスト講師：Nicraic 門久百合絵 氏



熱意ある女性達が集まり、参加者
同士活発な意見交換が行われた

◆創業スタートアップ講座(全6回連続講座/参加者累計延べ177人)※男女共参加可

創業予定者を対象に、B-nest 経営応援団(中小企業診断士)による創業セミナーを開催した。

マーケティングの基礎知識や資金計画の立て方、ビジネスプラン作成等の講義のほか、29年度ビジネスプランコンテスト最優秀賞受賞者をゲスト講師に招き、意見交換を行った。

・ゲスト講師：梅ヶ島くらぶ 辻美陽子 氏

◆起業家訪問会(1回開催/参加者14名)

地元で活躍する先輩起業家の店舗を訪問し、事業展開等の講義のほか、講師の指導による体幹トレーニングの実体験を行った。

・講師：So Juice 小林祐太 氏

◆女性限定「キャリアアップセミナー」(1回開催/参加者27人)

営業職を中心に、働く女性を対象としたグループワーク形式による実務セミナーを開催した。また、講師が理事を務める「一般社団法人営業部女子課の会」の理念や活動の紹介を行った。

・講師：アクセンティア(株) 小川由香利 氏

◆女性限定「コミュニケーションセミナー」(1回開催/参加者20人)

創業スタートアップ講座受講後の更なるステップアップを目的として、創業を間近に控えた女性を中心に、コミュニケーションやプレゼンテーションに特化したセミナーを初開催した。

・講師：(株)舎鐘 代表取締役 長谷川玲子 氏

② マーケティング支援事業

中小企業に対する支援として、マーケットインの発想に基づき、「売れるもの」をどう創り、誰に、どう買ってもらおうのかという、マーケティングに特化した支援事業を実施した。

<マーケティング支援講座（セミナー・研修・講座の企画・実施）>

創業者、中小企業者、従業員に対し、マーケティング発想を醸成する目的で、マーケティングに必要なスキル習得を支援する「マーケティング支援講座」等を開催した。

講 座 名	内 容	参加者数
マーケティング支援講座 (9回)	新たな市場調査スキルから野立て看板にいたるまで、バラエティに富んだ講座を実施し、よりタイムリーで実践的な内容を中心に学習及び交流する機会を提供 ・「食をテーマとしたマーケティング」 講師：静岡県立大学 岩崎邦彦教授 ・「鳥居ソースの事業戦略」 講師：鳥居ソース(株) 鳥居大資社長 ・「門外不出の売れる秘訣」 講師：(有)いろは 竹内謙礼社長 ほか6講座	延べ 620 名
中小企業支援セミナー (6回)	「ビジネス効率アップのための実践！ Google 活用術講座」 ほか5 講座	延べ 130 名



熱心に聴講する受講者



講演後に交流会で意見交流する受講者

成 果 目 標	結 果
マーケティング支援講座開催回数 12 回	マーケティング支援講座開催回数 15 回

< 静岡おみやプロジェクト >

地域資源を活用した“静岡の新しいお土産”の開発を目指し、静岡市内の食品事業者がマーケティングのノウハウやスキルを学びながら、約 10 ヶ月をかけて商品開発を行い、販路開拓・販売まで当センターが支援した。第 10 回目となった本年度は、記念事業として「静岡浅間神社のおみやげ開発！」というテーマを設定し、6 社の参加企業が同神社に伝わる伝統・文化を掘り起こし、創意を凝らしたユニークなおみやげ 6 品を完成させた。

◆プロジェクトメニュー

- ・勉強会／8 回 ・個別相談会／6 回
- ・消費者モニターによる試食評価会／1 回
- ・専門家による試食評価会／1 回
- ・テストマーケティング／1 回(産業フェア)
 - 開催日：平成 30 年 11 月 24 日・25 日
 - 場 所：ツインメッセ静岡
- ・成果発表会／1 回
 - 開催日：平成 31 年 1 月 30 日
 - 場 所：静岡市産学交流センター
- ・お披露目販売会／1 回 出展数／6 社
 - 開催日：平成 31 年 2 月 2 日・3 日
 - 場 所：静岡浅間神社
- ・首都圏における商談会／1 回 出展数／40 社
 - 開催日：平成 31 年 2 月 25 日
 - 場 所：東京 秋葉原 UDX
- ・おみや 10 周年記念販売会／1 回 出展数／22 社
 - 開催日：平成 31 年 3 月 2 日・3 日
 - 場 所：エスパルスドリームプラザ



静岡おみやプロジェクト
静岡浅間神社歴史探訪



静岡おみやプロジェクト
静岡浅間神社でのフィールド調査

【平成 30 年度開発商品】



(有)葵煎餅本家／浅間みくじせんべい



成茶加納(株)／静岡浅間七社巡り



(株)竹酢／静岡浅間赤いなり



浮月楼／目覚め猫まんま弁当



(株)豆豊商店／神社の玉砂利



(株)やまだいち／おにやらぼう和クッキー

成果目標		結果	
新商品開発件数	6 件	新商品開発件数	6 件

③ 産学連携事業

大学等（学术界）が保有する高度で専門的な知識や技術等を、市内の企業（産業界）が活用できるよう橋渡しをした。

企業と大学との
努力の結晶
について聴講
できる、産学共
同研究発表会



<産学連携コーディネーターによる産学連携推進>

産学連携コーディネーターによる相談、大学・研究機関または企業への橋渡しを実施した。今後も更なる支援強化に向け、引き続き各大学と産学連携コーディネーターとの連携強化を図り、マッチング件数の増加に努めていく。

事業名	内容	開催回数等
産学連携コーディネーター相談	企業が抱える問題、課題等への相談	相談件数 176 件
静岡地域産学連携コーディネーター会議	静岡大学、静岡県立大学、東海大学海洋学部、（公財）静岡県産業振興財団、静岡県工業技術研究所、静岡市清水産業・情報プラザ、静岡市経済局産業政策課、静岡市産学交流センターのコーディネーターとの情報交換	全 10 回
事例セミナー、講演会の開催	・ 第 116 回「産学官交流」講演会・交流会 ・ マイクロオプティクス成型技術セミナー	参加 70 名 参加 35 名
企業及び大学見学会の開催	・ (株) E B I S U ・ (株) アイエイアイ ・ 静岡県水産技術研究所	参加 16 名 参加 18 名 参加 22 名

成果目標	結果
相談件数 180 件	相談件数 176 件

地域企業の
技術的
相談に対
応するコ
ーディネ
ーター



<地域課題に係る産学共同研究委託事業>

静岡市が重点的に振興を図る戦略産業分野(※1)を対象に、中小企業者や各団体が大学等と共同で行う新製品の開発・事業化、新たな事業への進出や社会・経済・環境の変化に対する取組等(調査・研究・開発事業等)を支援した。

- ※1 ①食品・ヘルスケア ②エネルギー・海洋 ③観光・ブランド ④クリエイティブ
⑤清水港・ロジスティクス ⑥その他地域活性化・新産業創出に関連する分野

研究事業		企業 (中心団体)	大学
基礎 コース ※2	自然薯むかごを利用した高級健康和菓子(羊羹)の開発	(有)丁子屋	静岡県立大学食品栄養科学部
	ドローンを利用した新たな航空レーザー計測方法の開発と展開	平井工業(株)	静岡理工科大学理工学部
	静岡発 多機能性おかず缶詰の開発と販売戦略	山梨罐詰(株)	東海大学海洋学部
	リハビリテーション医学に基づく消臭・吸湿性機能を備えた手掌用介護用品の開発	(株)製茶問屋山梨商店	常葉大学健康科学部
応用 コース ※3	廃石膏ボードを利用した新たなリン酸肥料の開発	三和建商(株)	静岡大学農学部
	省力的石垣イチゴ栽培技術と端境期用商品の開発	するが夢苺(株)	静岡大学農学部 静岡英和学院大学短期大学部
	新規まぐろ加工食品(ぎゅっツナ・プラス～まぐろのハム+Ca～)の開発	(株)ディ・エッチ・エー・マリンフーズ	東海大学海洋学部

※2 基礎コース(委託限度額100万円)では、主に、「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択した。

※3 応用コース(委託限度額200万円)では、主に、「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化(商品化)が見込めるものを採択した。

成果目標	結果
応募件数 15 社	応募件数 10 社

④ 情報提供事業

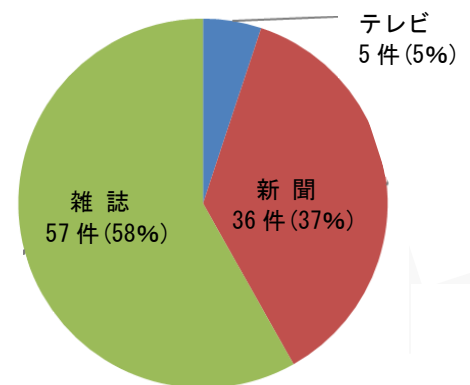
当センターの認知度の向上と利用者の拡大に向けて、起業者及び中小企業者等に対して、当センターや他の産業支援機関等の情報を分かりやすく提供した。

◆ホームページ・メールマガジン・広報誌等による広報事業

当センター、国・県・市等の各行政機関及び産業支援団体等の産業支援に関する情報について、ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook や広報誌「B-nestFACE」等の媒体により、分かりやすくタイムリーな情報発信を心掛けながら利用者に提供したほか、メディアへの当センターの掲載回数増にも注力した。

また、施設利用や新着情報に関するスマホ対応ページを充実することで、利用者の利便性向上も図った。

メディアへの掲載件数と割合



成果目標	結果
新規メルマガ登録者数 250 件	登録者数 418 件

(参考)平成 30 年度末メルマガ登録件数 2,415 件
(前年比+238 件)

◆ラウンジ等における情報提供

当センターのラウンジ等にて、「静岡おみやプロジェクト」「産学共同研究委託事業」及び「しずおかビジネスプランコンテスト」等で、新たに開発された製品の展示やそれらに関する情報を提供した。また、国・県・市等の各行政機関、他の産業支援団体及び大学等の産業支援施策の情報の一元的な提供にも努めた。

⑤ 施設提供事業

◆貸会議室業務

静岡市から、指定管理者の指定を受け、中小企業や大学等の打ち合わせや研修会、講演会等に施設の貸出しを行なった。

- ・利用件数 2,322 件
- ・開館時間 月曜日～土曜日 9時30分～22時00分
※ただし、休館日（日曜日、国民の休日及び12月28日から翌年1月5日）を除く。

◆会議室の利用状況

区分 年度	開館日数 (日)	来場者数 (人)	来場者数内訳(人)			利用 コマ数	総 コマ数	平均 利用率※ (%)
			会議室 利用者数	相談者数	日平均			
H30	292	57,183	56,254	929	196	5,217	11,680	44.7

※平均利用率＝利用コマ数÷総コマ数（各室1日5コマ×全8室×開館日数）×100

(4) 静岡市中小企業支援センター事業

静岡市から、静岡市中小企業支援センターの指定法人の指定を受け、中小企業が抱える様々な問題に対して診断・助言を行う等の各種事業を実施した。

① 窓口相談等事業

中小企業者や創業を目指す事業者の課題解決のために、経営の専門家である中小企業診断士で構成する窓口相談員（B-nest 経営応援団）を中心に、経営相談、マーケティングアドバイス、創業相談を行った。

創業スタートアップ講座や他の事業から窓口相談へ誘導を図ったほか、ホームページやメールマガジン等のツールを使い、本事業の周知に努めた。また、窓口相談へのさらなる誘導策として、各診断士によるミニワークショップ「ちょこっとアフター6勉強会」※を毎月開催した。

※「ちょこっとアフター6勉強会」…各診断士の得意・専門分野をテーマとした小勉強会

◆B-nest 経営応援団による相談

- ・窓口相談員の配置 5名（経営、資金計画、販路開拓、現場改善、キャリア開発等）
- ・開設時間 月曜日から金曜日 13時から19時（産学交流センター）
土曜日 10時から17時（御幸町図書館）

◆相談件数 590件（開設以来最多）

成 果 目 標		結 果	
新規創業者数	25 者	新規創業者数	34 者
新商品開発	5 点	新商品開発	18 点
新事業進出	5 社	新事業進出	22 社

② 専門家派遣事業

中小企業者が抱える様々な問題に対し、当センターに登録された民間の専門家を事業者派遣し、経営等に関する助言を行った。

- ・実施分野 経営全般・情報化・マーケティング・デザイン
- ・実施回数 [一般枠] 118回／24社 [創業枠] 34回／8社
(経営改善支援 12社、デザイン開発支援 5社、マーケティング支援 7社、情報化支援 8社)
- ・登録アドバイザー 105名

成 果 目 標		結 果	
専門家派遣実施回数	160 回	専門家派遣実施回数	152 回

③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業

国が進める「新連携」や「地域資源活用プログラム」等の国庫補助制度の採択に向け、静岡市における地域資源や企業の技術、ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化の推進について、他の支援機関と連携を図りながら支援した。

- ・地域資源活用プログラム支援
(大川企業組合、水見色きらく市企業組合、静岡県豆腐油揚げ商工組合)
- ・新連携支援 (株式会社山崎製作所)

成 果 目 標	結 果
新連携支援事業実施数 4 件	新連携支援事業実施数 4 件

④ 中小企業等販路開拓支援事業

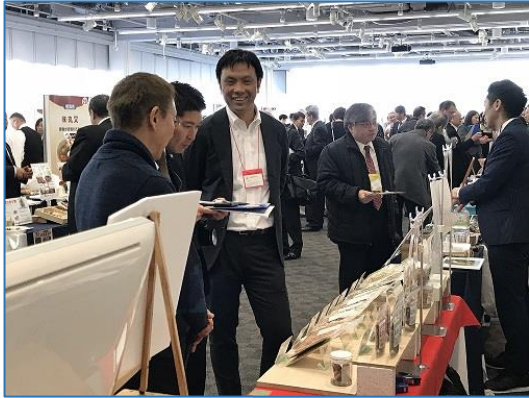
第9回となった「静岡おみや首都圏商談会」では、前年度に引き続き個別商談を設定し、事業者が新たに接点を持ちたいと希望する首都圏のバイヤーとの商談の機会を提供するため、招致バイヤー数を増やし、販路開拓に実績のある NPO によるマッチングのサポートなどを行った。

◆首都圏商談会 「静岡おみや首都圏商談会」を開催

- ・期 日 平成 31 年 2 月 25 日(金)
- ・会 場 東京秋葉原 UDX
- ・出展者数 40 社(静岡市 13 社/焼津市 12 社/磐田市 2 社/島田市 5 社 ほか)
- ・来場バイヤー数 250 名(食品バイヤー等) ※前年度 230 名

◆各種イベントへの出店等

- ・駿府楽市「第 10 回静岡おみや開発商品」特設コーナー設置 (4/6~27)
- ・「すろーかる」9 月号に「静岡浅間神社のおみやげ開発！」見開き 2 ページ掲載
- ・「静岡おみや手帖」改訂版を発行/5000 部 (10/5)
- ・しんきんビジネスマッチング(ツインメッセ静岡)に梅ヶ島くらぶが出展(10/11)
- ・静岡市特産品新宿展示会においしい産業(株)が出展 (10/17~19)
- ・「産業フェアしずおか」に、平成 30 年度おみや商品開発事業者 6 社が出店(1/24・25)
- ・東京プリンスホテル静岡市交流会 in 東京に、梅ヶ島くらぶ、蒲原屋が出展(12/19)
- ・静岡浅間神社 完成商品お披露目販売会 (2/2・3)
- ・エスパルスドリームプラザ販売会に 22 社が出店 (3/2・3) ほか



多くのバイヤーで賑わう首都圏商談会 in 秋葉原 UDX



個別ブースでの商談の様子

⑤ 制度融資関連事務

中小企業者が資金調達のために利用する「中小企業融資制度」の受付事務を静岡市から受託している。

- ・ 申請受付件数 1,251 件
- ・ 申請金額 7,156,382 千円

【申請受付内訳】

制 度	件数(件)	金額 (千円)
小口資金	32	121,900
短期経営改善資金	440	2,335,830
産業振興資金	690	4,219,650
創業支援資金	24	81,560
設備投資強化資金	46	387,442
事業承継支援資金	1	10,000
セーフティネット保証	18	
合 計	1,251	7,156,382

セーフティネット保証は認定事務のみ。

2 収益事業（ツインメッセ静岡）

(1) 展示場及び会議室等の貸与

当協会の経営基盤の安定化を図るとともに、静岡市のMICEの拠点として地域の活性化を推進するため、公益目的以外(収益事業)にも展示場及び会議室を貸与した。

展示場における貸出件数は125件(利用率26.0%)で前年度と比較して27件減少したが、リピーター企業の確保を図り、収益の安定に努めた。

大展示場では、自動車の展示や大規模な販売催事などが開催されたほか、将棋やカードゲームの競技大会が開催され、市内外から多くの来場者で賑わった。

小展示場では、呉服、スポーツ用品など、リピーター事業者の販売催事を中心に利用があった。また、昨年度に引き続き教科書販売で39日間の長期利用を確保した。

会議室は、企業の研修、講習会等に使用された。

<主な展示場利用>

催 事 名	使用期間
ミキハウス ファミリーセール in 静岡	4/13～15 11/9～11 3/22～24
伊藤忠ファミリーフェア	6/8～10 12/14～16
第4回ハイエンドカーオーディオコンテスト	7/13～15
将棋日本シリーズ JTプロ公式戦／テーブルマークこども大会	7/20・21
静岡マツダ 特設展示会 in 静岡	8/24～26 2/8～10
マジック・ザ・ギャザリング日本選手権2018（カードゲーム大会）	9/8～9
輸入車アウトレットフェア in ツインメッセ静岡	11/2～4 2/15～17
グランプリ静岡（カードゲーム大会）	11/28～12/2

<主な会議室利用>

催 事 名	使用期間
楽天生命保険（株）登録後研修等	4/2～3/26
ジンマーバイオメット合同会社 勉強会等	4/3～3/26
ヨガアカデミー静岡	4/5～3/28
大和ハウス工業(株) 販促部会・安全衛生協議会等	4/19～1/24

(2) レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストランのほか、施設内に飲料水等の自動販売機やコインロッカー等を設置して、施設利用者・来場者の利便を図るとともに、収益の確保に努めた。

サービス施設・設備	数量等	サービス施設・設備	数量等
レストラン	1店	コインロッカー	29箱
飲料水自動販売機	30台	携帯電話充電器	2台
たばこ自動販売機	1台	コインコピー機	1台

3 施設利用促進事業（ツインメッセ静岡）

将来にわたる継続的かつ安定的な施設運営を確保するため、利用率の維持・向上に向けて、次の事業を実施した。

<「2020 年展示場問題」に係わる営業>

2020 年展示場問題※を機に、静岡市や近隣施設の「グランシップ」と共同で、本年度まで3年にわたり、互いの強みを生かした誘致活動を、「日本展示会協会」（日本最大の展示会主催者団体）の会員を中心に行った。

※2020 年展示場問題・・・東京五輪のためメディア施設として使用される「東京ビッグサイト」と競技会場として使用される「幕張メッセ」が、この期間、展示場として数ヵ月使用できないこと。

本年度は、「幕張メッセ」や「東京ビッグサイト」の地方開催が可能なイベントに絞って誘致活動を行い、下表の3団体のイベントを誘致できた。

成 果 目 標	結 果	摘 要
2020 年までに5件の誘致を確保する。	3 件の誘致を確保	①ミネラルザワールド in 静岡秋の天然石祭り！ ・実施日；平成30年10月19日～21日 ・予約日；令和元年11月7日～10日 ②博麗神社例大祭（同人誌のイベント） ・予約日；令和2年3月21日～22日 ③「Pet博2020 in 静岡」 ・予約日；令和2年5月1日～4日

<中部横断自動車道開通に伴う山梨地区営業>

前年度に引き続き、令和元年度開通予定の中部横断自動車道整備に併せて、静岡に販路拡大を目指す山梨県内の企業・団体に対し、ツインメッセ静岡をPRするため、山梨県中小企業団体中央会へ営業した。また、同中央会と観光・物産の連携を検討している静岡県中小企業団体中央会を訪問し、ツインメッセ静岡の利用促進営業を実施した。

<大規模コンベンションの共同誘致営業>

「MICE連絡会」参加団体である静岡市・するが企画観光局・静岡県文化財団（グランシップ）とともに、静岡開催が有望な「大規模コンベンション」の主催者団体へ合同営業を行った。

また、2019年度中に改修工事が予定されている「ポートメッセなごや」の展示会主催者に対しても、静岡開催が可能なイベント誘致を行った。

成 果 目 標	結 果	摘 要
2019 年までに3件の誘致案件確保	2 件の誘致案件確保	・建築士会全国大会(2022 年予定) ・全国産業安全衛生大会(2021 年以降)

＜広報媒体の活用＞

SNSやイベントカレンダー等によるイベント情報告知をはじめ、市内主要駅への広告掲示やイベント情報誌への広告掲載を行い、施設利用促進に努めた。

◆イベントカレンダーの配布

- ・発行部数：12,000部（年6回・隔月発行）
- ・設置場所：静岡県庁、静岡市役所、金融機関、静岡県内観光施設等 185箇所

◆広告掲載

- ・雑誌広告 10件
- ・新聞広告 2件

4 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行った。

◆収容台数 立体587台・地下175台

◆利用料金 30分毎100円

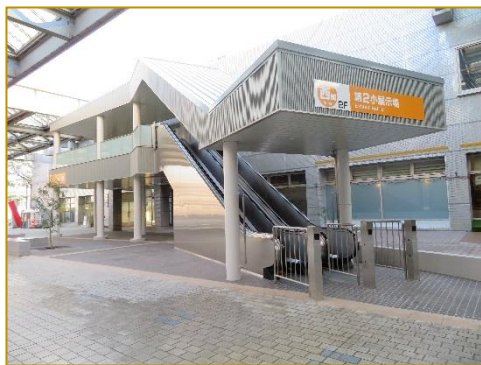
（ ）は前年度

立体駐車場	地下駐車場	計
117,188台 (130,214台)	2,102台 (3,677台)	119,290台 (133,891台)

5 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）

施設の良好な状態を継続して保ち、利用者の安心、安全の確保及び利用者サービスの向上を図るため、施設及び設備の修繕等を実施した。主な修繕等は以下のとおりである。

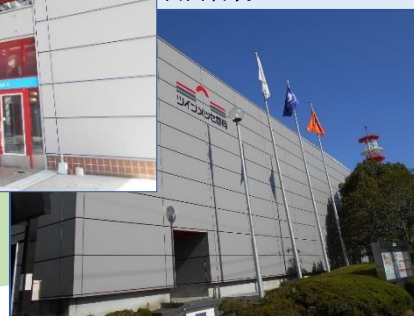
	主 な 修 繕
1	北館電気室真空遮断器等更新修繕工事
2	北館自動制御機器・リモートユニット更新修繕工事
3	北館電気室・西館レストラン積算電力量計更新修繕工事
4	北館大展示場No.2 冷却塔充填材等更新修繕工事
5	北館3階ラウンジ、パントリー系ほか空気調和設備更新等修繕工事
6	北館No.5 昇降機作動油等交換修繕工事
7	南館モール バス停庇屋根更新等修繕工事
8	南館南面・西面外壁塗装修繕工事
9	南館地階ほか防火シャッター危害防止装置取付等修繕工事
10	西館エスカレータ棟増築工事
11	西館2階ラウンジほか2か所照明器具取替修繕工事
12	西館2階男子トイレほか2か所衛生器具等更新修繕工事
13	立体駐車場4, 5階落下防止柵更新修繕工事
14	プロムナード高天井照明器具更新修繕工事



西館へのエスカレータ設置により
来場者のサービス向上を図る。



外壁塗装工事により
リニューアルされた
南館の西面(左)と
南面(下)。



エスカレータ空間
に設けられた石の
ベンチ。

中央棟プロムナードは、エネルギー効率が良く、環境にやさしいLED照明に切り替えられた。



6 理事会・評議員会等

(1) 理事会

開催年月日	議 題	審議 結果
H30. 4. 1 (臨 時)	< 審議事項 > 公益財団法人静岡産業振興協会副理事長の選任について	可決
H30. 5. 29 (定 時)	< 審議事項 > (1) 平成 29 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告及び決算の承認について (2) 定時評議員会の招集について < 報告事項 > 平成 29 年度資金運用状況の報告について < その他報告事項 > (1) 未回収債権への対応状況について (2) 西館エスカレータの設置について (3) 南館・西館の耐震診断結果について (4) 協会経営計画書の策定について	可決 可決 了承
H31. 3. 25 (定 時)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会中期経営計画について (2) 平成 31 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業計画について (3) 平成 31 年度公益財団法人静岡産業振興協会予算について (4) 平成 31 年度公益財団法人静岡産業振興協会資金運用方針について (5) 評議員会への理事選任提案について	承認 可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 題	審議 結果
H30. 5. 16 (臨 時)	< 審議事項 > 公益財団法人静岡産業振興協会の理事の選任について 公益財団法人静岡産業振興協会の評議員の選任について	可決 可決
H30. 6. 14 (定 時)	< 審議事項 > 平成 29 年度公益財団法人静岡産業振興協会決算の承認について < 報告事項 > 平成 29 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告について	承認 了承

(3) 登記事項 (2 件)

H30. 4. 18	評議員、理事の変更登記
H30. 5. 31	評議員、理事の変更登記

(4) 役 員 [H31. 3. 31 現在]

() は前年度

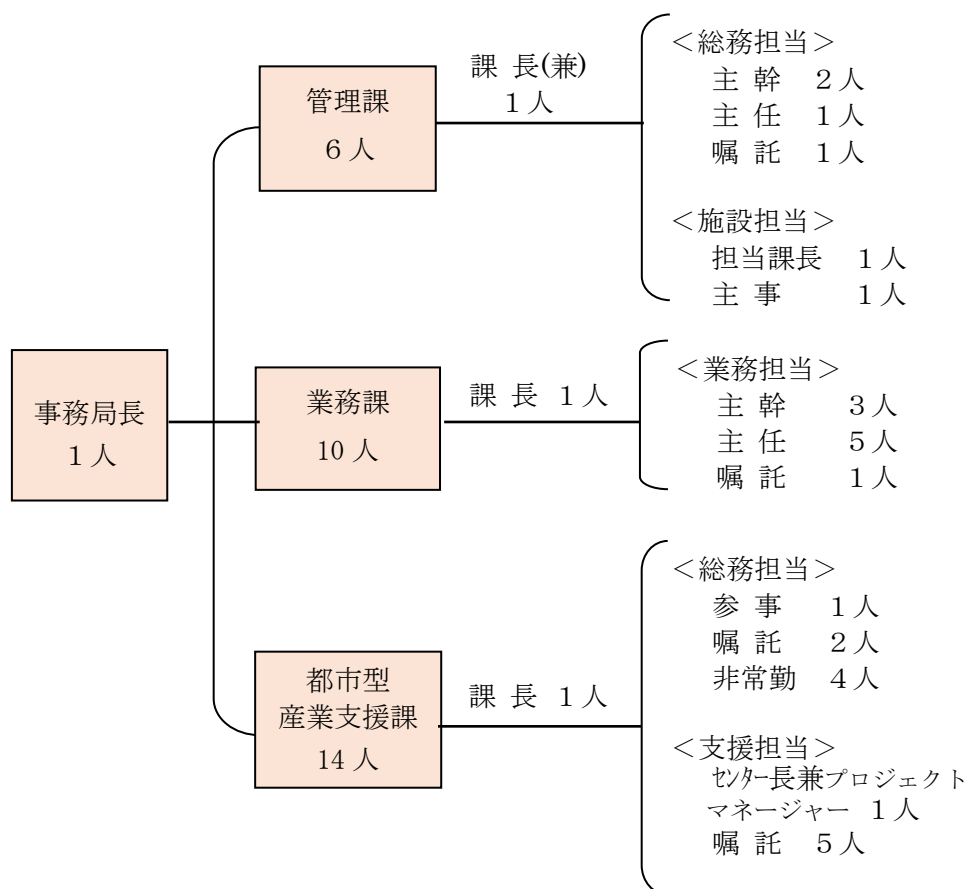
理 事	評議員	監 事	計
10 人 (10 人)	8 人 (8 人)	2 人 (2 人)	20 人 (20 人)

(5) 組 織 [H31. 3. 31 現在]

() は前年度

職員数 31 人(30 人)

- ◆内訳：事務局長兼課長 1 (－) 事務局長－(1) 次長兼課長 0(1) 課長 2 (2) 担当課長 1 (1)
参事 1 (1) センター長兼プロジェクトマネージャー 1 (1) 主幹 5 (4) 主任 6 (6) 主事 1 (1)
嘱託 9 (8) 非常勤 4 (4)



参考資料

◇展示場の利用状況

大展示場の利用件数は、前年度を1件上回ったものの、利用日数では13日の減少となった。これにより、利用率は1.8ポイント低下し、53.2%となった。※利用率＝使用日数÷(365-休館日数)

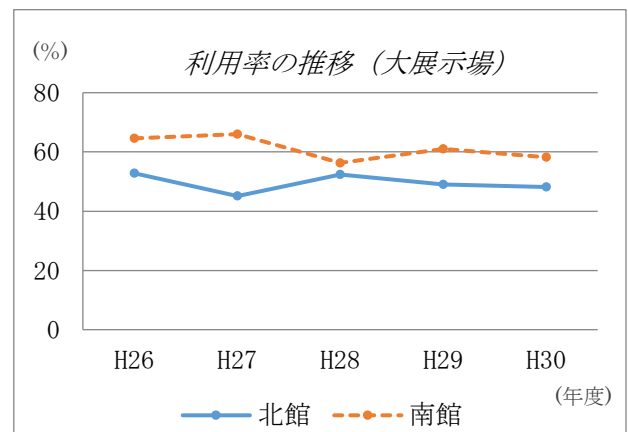
小展示場は、西館エスカレータ工事による長期貸出停止があったことにより、利用件数は、前年度と比較して31件減少し、利用日数でも85日の減少となった。これにより、利用率も5.9ポイント減少し、30.4%となった。

① 利用件数・利用日数・利用率

<大展示場>

()は前年度

	北 館	南 館	計
件 数	61 (67)	100 (93)	161 (160)
日 数	173 (176)	209 (219)	382 (395)
利用率 (%)	48.2 (49.0)	58.2 (61.0)	53.2 (55.0)

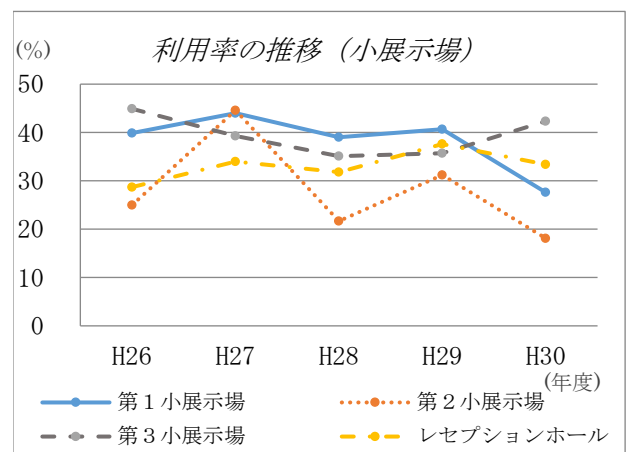


※休館日：12/29～1/3

<小展示場>

()は前年度

	第 1	第 2	第 3	レセプション ホール	計
件 数	54 (76)	30 (35)	52 (59)	62 (59)	198 (229)
日 数	99 (146)	65 (112)	152 (128)	120 (135)	436 (521)
利用率 (%)	27.6 (40.7)	18.1 (31.2)	42.3 (35.7)	33.4 (37.6)	30.4 (36.3)



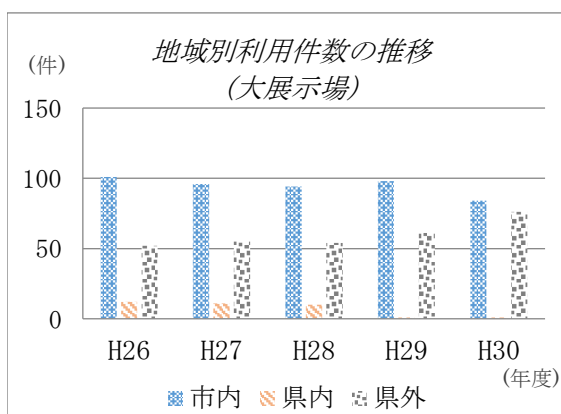
※休館日：12/29～1/3

② 地域別利用状況

<大展示場>

()は前年度

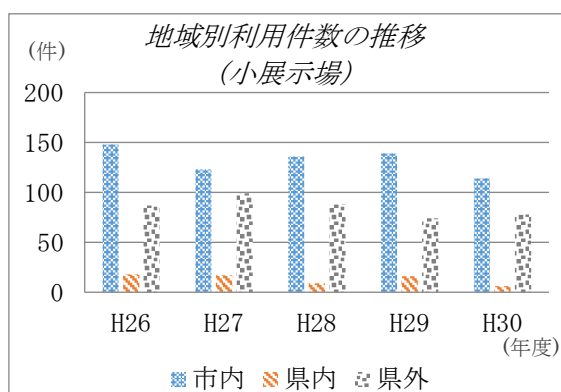
	市 内	県 内	県 外	計
件 数	84 (98)	15 (9)	62 (53)	161 (160)
割 合 (%)	52.2 (61.3)	9.3 (5.6)	38.5 (33.1)	100 (100)



<小展示場>

()は前年度

	市 内	県 内	県 外	計
件 数	114 (139)	6 (16)	78 (74)	198 (229)
割 合 (%)	57.6 (60.7)	3.0 (7.0)	39.4 (32.3)	100 (100)

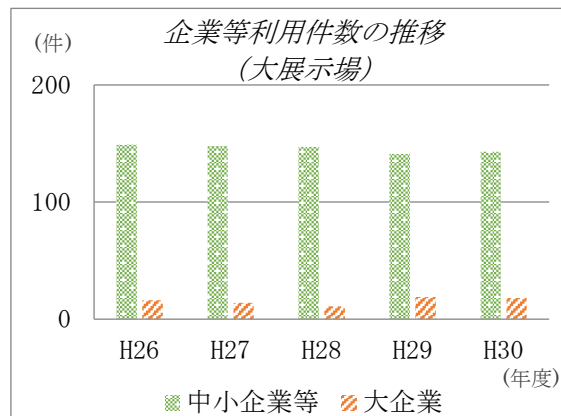


③ 企業等規模別利用状況

<大展示場>

()は前年度

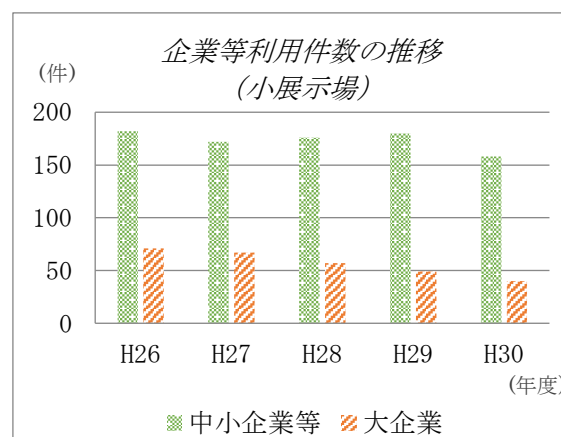
	中小企業等	大企業	計
件 数	143 (141)	18 (19)	161 (160)
割 合 (%)	88.8 (88.1)	11.2 (11.9)	100 (100)



<小展示場>

()は前年度

	中小企業等	大企業	計
件 数	158 (180)	40 (49)	198 (229)
割 合 (%)	79.8 (78.6)	20.2 (21.4)	100 (100)



④ 業種別利用状況

単位：件 ※（ ）は前年度

業 種	大 展 示 場			小 展 示 場				
	北館	南館	計	第1	第2	第3	レセブ	計
農林水産・食品等	6	6	12(13)	1	1	4	2	8(10)
産業機械・精密機械	2	3	5(6)	3	2	2	0	7(6)
建築・住宅・資材	3	21	24(22)	10	4	8	12	34(37)
医療・福祉・美容	5	6	11(12)	15	3	1	3	22(31)
家具・雛具・仏壇等	2	2	4(3)	3	1	4	3	11(15)
交通・車両・運輸	9	3	12(13)	0	1	2	3	6(8)
家 電	2	3	5(5)	3	2	3	2	10(13)
システム・OA・ ソリューション	0	0	0(0)	2	3	2	4	11(9)
情報・通信・映像	0	0	0(1)	1	0	0	0	1(2)
物流・商社・店舗	10	18	28(29)	2	1	1	7	11(12)
衣料・呉服・宝飾等	0	3	3(2)	2	3	1	5	11(13)
スポーツ用品	0	2	2(2)	0	0	2	0	2(5)
家庭雑貨・文具	0	1	1(2)	3	0	0	1	4(6)
文化メディア・マスコミ	0	1	1(4)	0	1	3	2	6(9)
趣味・娯楽・ペット・ プラモデル	10	14	24(27)	5	3	5	1	14(20)
行 政	2	4	6(6)	0	2	3	0	5(5)
学校・教育	8	10	18(11)	2	3	6	4	15(11)
その他	2	3	5(2)	2	0	5	13	20(17)
合 計	61	100	161(160)	54	30	52	62	198(229)

◇会議室の利用状況

会議室は、前年度開催した長期の研修会がなかったことや、大展示場を利用したファミリー向け催事の減少により、スタッフ控室等での利用が大幅に減少した。利用日数は、前年度と比較して78日減少し、利用率は2.4ポイント低下し、63.1%となった。※利用率＝使用日数÷（365-休館日数）

<中央棟>

()は前年度

会議室	401	402	403	404	405	406	407	408	409	計
日 数	226 (232)	212 (224)	211 (224)	211 (231)	226 (250)	221 (226)	247 (251)	282 (291)	202 (187)	2,038 (2,116)
利用率 (%)	63.0 (64.6)	59.1 (62.4)	58.8 (62.4)	58.8 (64.3)	63.0 (69.6)	61.6 (63.0)	68.8 (69.9)	78.6 (81.1)	56.3 (52.1)	63.1 (65.5)

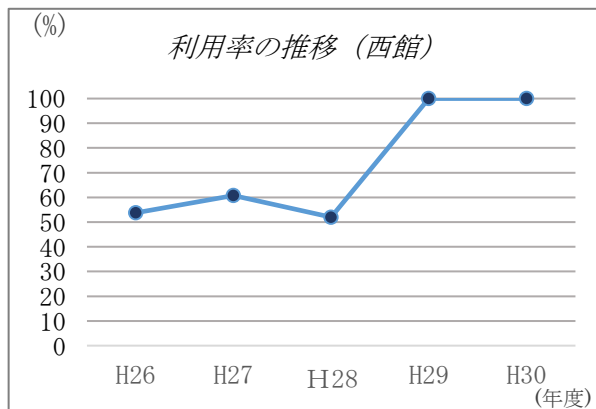
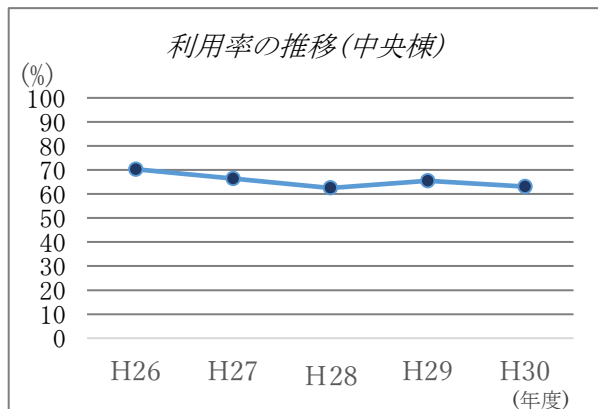
※休館日：12/29～1/3

<西 館>

()は前年度

会議室	201	202	203	計
日 数	359 (359)	359 (359)	359 (359)	1,077 (1,077)
利用率 (%)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 (100)

※休館日：12/29～1/3



◇年間来場者数

ツインメッセ静岡の年間来場者数は、前年度ゴールデンウィークや春休み中などに開催されたファミリー向け催事の減少により、前年度と比較して140,460人減少し、728,588人となった。

- ・年間来場者数 ※()は前年度
728,588人(869,048人)

